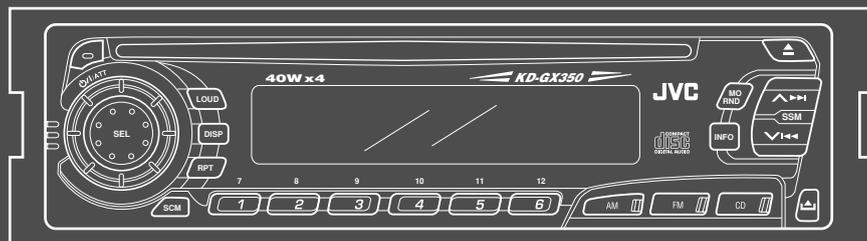


取扱説明書

JVC

KD-GX350

CDレシーバー



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

— お買い上げありがとうございます —

ご使用前にこの「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

- 主な特長……………2
- 安全上のご注意……………3～7
- 各部の名前と働き……………8～11
- 時計の合わせかた……………12
- 音量・音質の調節……………13～15
- CDを聞く……………16～18
- ラジオを聞く……………19～22
- レベルメーターの表示切換え……………22
- コントロールパネルの着脱……………23
- 正しくお使いいただくために……………24
- こんなときは……………25
- 保証書とアフターサービス……………26
- 主な仕様……………27
- お手入れ……………裏表紙

主な特長

- 直接CDが出し入れできるCDプレーヤー
 - ・ダイレクト選曲
 - ・ランダム演奏/リピート演奏
 - ・8センチCD対応(アダプターなしでダイレクトイン)
- 高音質1ビットDAC(D/Aコンバーター)
- ダイレクトソース(音源)切換
 - ・ラジオやCDの演奏がワンタッチでスタート(電源を入れることも可能)
- 40W×4ハイパワーアンプ内蔵
ストロングステーションメモリー
- SSM搭載チューナー
 - ・HS-II(高感度)チューナー
 - ・FM放送に限りSSMによる放送局のメモリーが可能
 - ・24局プリセット(FM⇒6局×2, AM⇒6局×2)
 - ・アンテナリモート機能
インフォメーション
 - ・交通情報が聞けるINFOボタン
- マルチ電子コントロール(音量・音質)
- 音楽に合わせて選べるサウンドコントロール
 - ・BEAT/SOFT/POP
ビート ソフト ポップ
- SCM LINK機能
リンク
- ライン出力端子(RCAピン×1系統)

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、障害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

警告

■本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。

■配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

■本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取付けしないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

■車体に穴を開けて取付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用して本機を取付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故などの原因となります。



警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電の原因となります。

- 自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

⚠ 注意

■本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取付は避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取付は避けてください。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■本機を不安定なところに取付けないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で
ご使用ください。



・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

■ 本機を車載用として以外は使用しないでください。



・ 感電やけがの原因となることがあります。

■ ディスク挿入口に異物を入れないでください。



・ 火災や感電の原因となることがあります。

■ ディスク挿入口に手や指を入れないでください。

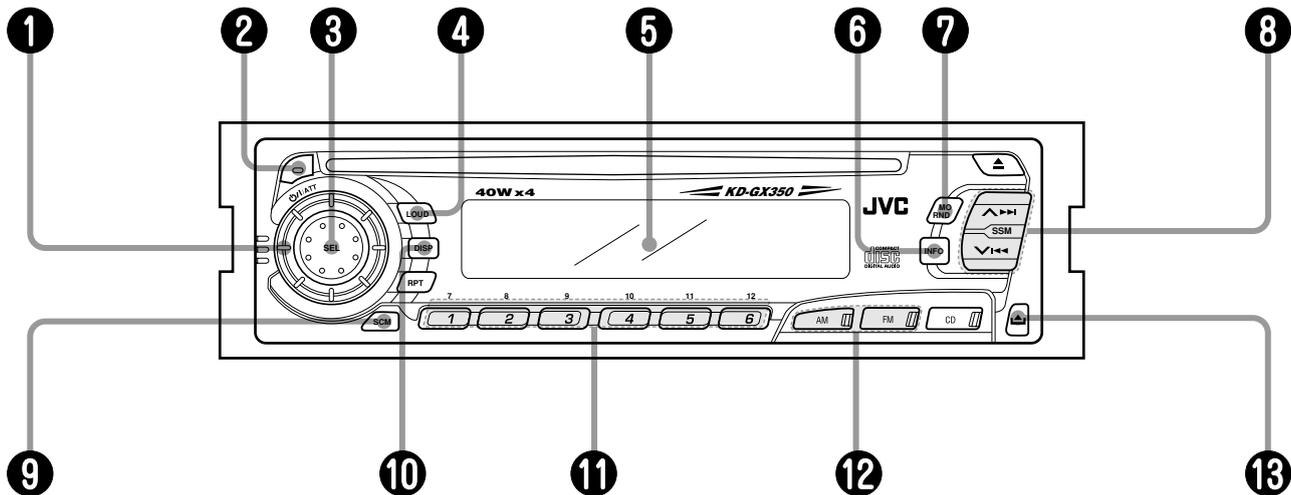


・ けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

各部の名前と働き(1)

— 共通部分およびラジオを聞くときの働きです。 —



1 ジョグダイヤル

電子ボリュームのレベルが調節できます。➡13ページ参照

2 電源/ATTボタン

アッテネーター

電源の「オン」↔「オフ」や音量を一時的に下げることができます。➡12ページ参照

3 セレクト SELボタン

音量・音質調節のモードが選べます。押しごとに



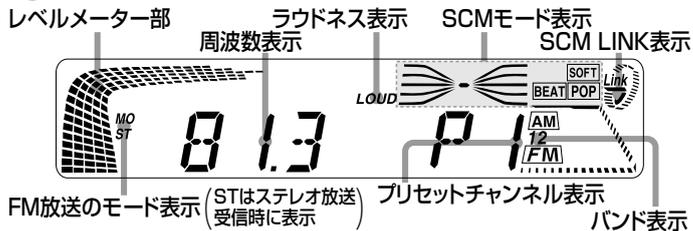
と変わります。➡13ページ参照

2秒以上押しと時計合わせなどができます。➡11 12ページ参照

4 ラウドネス LOUDボタン

小音量時の低音、高音を増強するとき使います。
→14ページ参照

5 表示窓(ラジオのとき)



6 インフォメーション INFOボタン

道路交通情報 (AM1,620kHz) を聞くと使います。
→21ページ参照

7 モノラル MOボタン

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき使います。
→20ページ参照

8 選局ボタン(∨、∧)/SSMボタン

放送局を選局するとき使います。→19ページ参照
∨と∧ボタンを同時に2秒以上押すと、電波状態の良いFMの放送局を、自動的にプリセットボタンにメモリーすることができます(SSM)。→21ページ参照

9 サウンド コントロールメモリー SCMボタン

聞きたい音楽に合わせて音質を選びます。→14ページ参照

10 ディスプレイ DISPボタン

表示窓の表示を変えるとき使います。
押すごとに「ソース(音源) ↔ 時刻表示」が選べます。

11 プリセットボタン(1~6)

放送局をメモリー(記憶)したり、メモリーした放送局を聞くとき使います。FM、AMとも各バンドごとに6局ずつメモリーできます。→20ページ参照

12 FMとAMボタン

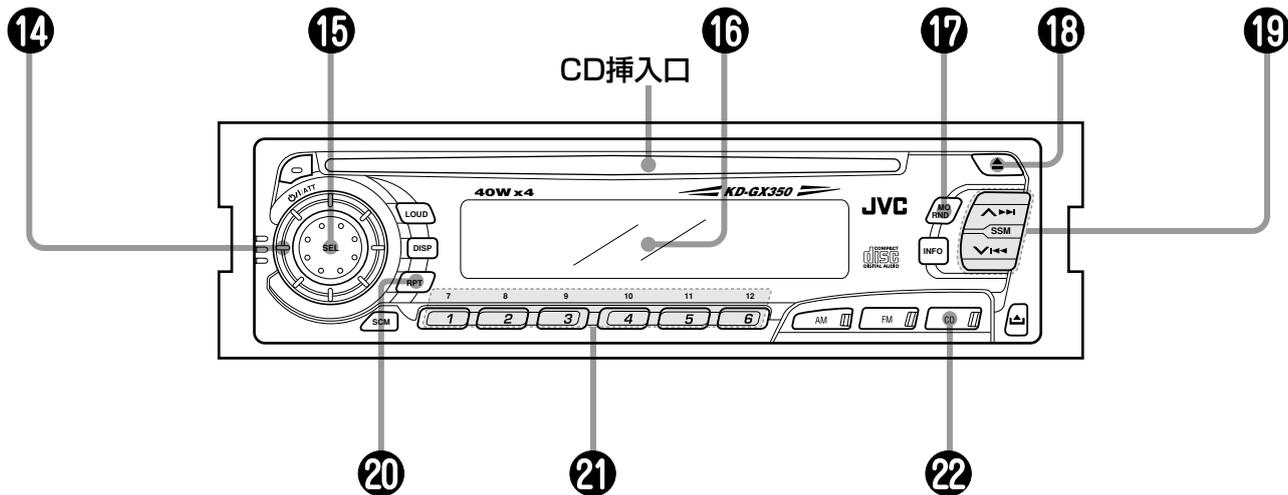
ソース(音源)を「ラジオ」にしたり、FMとAMの聞きたいバンドを選ぶとき使います。→19ページ参照
電源を入れることもできます。
押すごとにFMボタンはFM1 ↔ FM2、AMボタンはAM1 ↔ AM2と交互に変わります。

13 コントロールパネル取り出しボタン(▲)

コントロールパネルを外すとき押します。→23ページ参照

各部の名前と働き(2)

— CDを聞くとときとその他の働きです。—



〈お知らせ〉

- 本機にCDが入っていないときは、ファンクションが「CD」にはなりません。NO DISCノーディスクが表示されます。
- 文字のある面にCOMPACT DIGITAL AUDIOのマークが入っている、JIS規格に合ったCDをお使いください。

CD-Rディスクについて

お客様が編集したCD-Rディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-Rディスクをお使いになる前に、使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RW(リライタブル)ディスクは演奏できません。

14 ジョグダイヤル

SELボタンを2秒以上押して選んだ各モードの調節または選択ができます。→12⑩ページ参照

15 SELボタン

2秒以上押すと、お買い上げ時は「CLOCK H」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき▶▶I(またはI◀◀)ボタンを押すと、下記のモードが選べます。

例は▶▶Iボタンを押したときです。I◀◀ボタンでは逆に変わります。次から選んだモードが優先的に表示されます。



16 表示窓(CDのとき)



17 ランダム RNDボタン

CDに収録されている順番に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。(ランダム演奏)→17⑩ページ参照

18 ▲(ディスク取出し)ボタン

CDを取り出すとき使います。もう一度押すと中に引き込まれ演奏がスタートします。→18⑩ページ参照

19 I◀◀、▶▶I(スキップ/サーチ)ボタン

曲の頭出しや早送り、早戻しに使います。→18⑩ページ参照

20 リピート RPTボタン

曲をくり返して聞くことができます。(リピート演奏)
→17⑩ページ参照

21 曲番号ボタン(①~⑥)

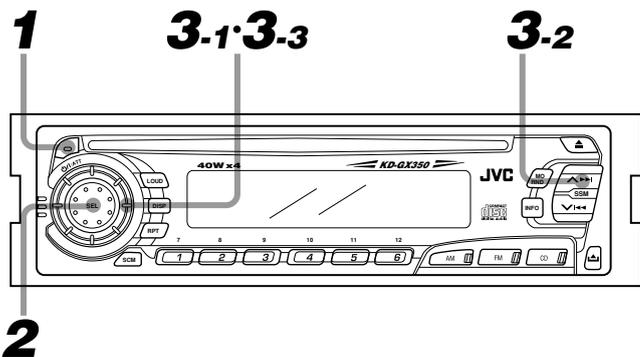
聞きたい曲を選ぶとき使います。→17⑩ページ参照

22 CDボタン

ファンクションを「CD」にするとき使います。
電源を入れることもできます。

時計の合わせかた

— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —



1 電源(電源)/ATTを押して電源を入れる (HELLOが表示されます)



・電源を切るときは、
1秒以上押します。
(SEE YOU表示
のあと電源オフ
になります)

・「ボン」と押したときは、ATTになり音量が一時的に下げられ、ATT表示が点滅します。もう一度押すと元の音量に戻ります

2 SELを2秒以上押して「CLOCK H」を表示させる



・2秒以上押す。

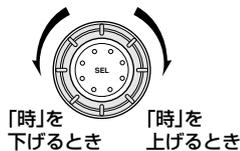
→ CLOCK H

・「CLOCK H」以外の表示が出たときは、▶▶| (または |◀◀) ボタンを「ボン・ボン」と押して選びます。

3 現在時刻に合わせる(時刻表示点滅中に操作します)

例：7時30分に合わせるとき(12時間表示方式です)

「時」を合わせる



「時」を
下げるとき 「時」を
上げるとき

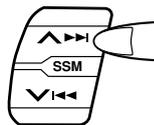
(3-1)

「時」表示 「分」表示



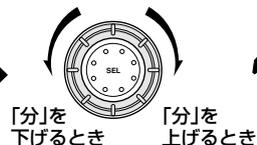
1秒ごとに点滅

「CLOCK H」を
表示させる



(3-2)

「分」を合わせる



「分」を
下げるとき 「分」を
上げるとき

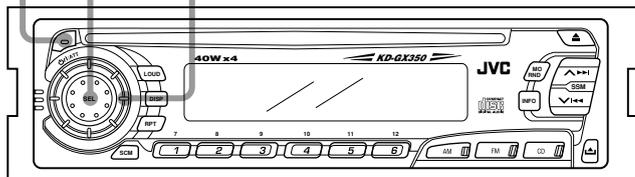
(3-3)



- ・時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース(音源)表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ボン」と押します。
- ・時刻を合わせ直すときも2~3の操作をします。
- ・バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

音量・音質の調節

1 2 3



一口メモ

- 調節したレベルはメモリー（記憶）されます。電源を切っても次に電源を入れたときは、電源を切る前のレベルが表示されます。
- フェーダー調節は 4 スピーカー接続のときのみ調節してください。

1 電源を入れる (HELLOが表示されます)



・電源を切る前のソース(音源)が表示されます。

2 SELを押して調節したいモードを選ぶ



・「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に

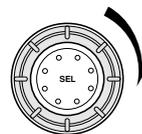
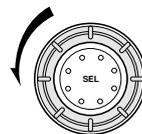
BAS → TRE → FAD → BAL
↑ VOL ↓

・「ボン」と押す

と変わります。ただしVOL(音量)調節のみの場合、この操作は、必要ありません。直接ジョグダイヤルで調節できます。表示窓のメーター部に現在のレベルが表示されます。

3 ジョグダイヤルを回して調節する

・調節したレベルが表示窓のメーター部に表示されます。



VOL (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BAS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TRE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FAD (フェーダー)	フロント出力が下がる	リア出力が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる

音量・音質の調節(つづき)

●音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
VOL(音量)	15	00~50
BAS(低音)	00(フラット)	-6~+6
TRE(高音)	00(フラット)	-6~+6
FAD(フェーダー)	00(センター)	リア フロント R 6 ~ F 6
BAL(バランス)	00(センター)	レフト ライト L 6 ~ R 6

・調節が終わってから5秒後に、表示窓は前のソース(音源)表示に戻ります。

●ラウドネスコントロールについて



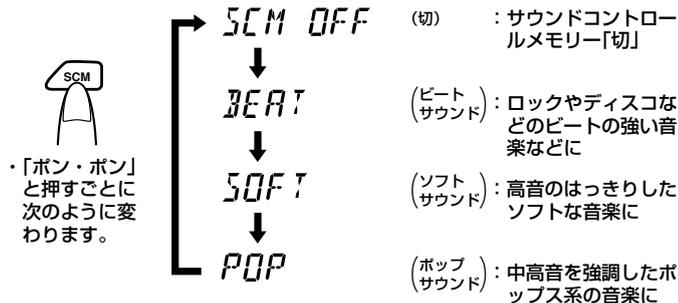
・押しごとに「オン↔オフ」になります。

お買い上げ時は、ラウドネス「オン」に設定されており表示窓に**LOUD**が表示されます。
小音量時の低音、高音が増強され聞きやすくなります。

LOUD ON ↔ **LOUD OFF**

SCMボタンの使いかた

サウンドコントロールメモリーを使ってお聞きになる音楽にあわせて音質が自由に選べます。



●SCM LINK機能について

SCM LINKとは、ビート、ソフトおよびポップサウンドの音質を各ソース(音源)ごとにメモリーしておける機能のことです。
お買い上げ時は「LINK ON」(🔗)が表示になっておりますので、好みの音質に調節しメモリーしてください。ソース(音源)を変えるごとに、違った雰囲気サウンドが楽しめます。

SCMのメモリー内容を変えるには

ビート、ソフトおよびポップサウンドは、好みの音質に調節しメモリーできます。LOUDネスの「オン/オフ」も一緒にメモリーできます。

1 ソース(音源)を選ぶ

- ・ラジオ、テープまたはCDチェンジャーなどから選びます。ただし、「LINK OFF」のときは、必要ありません。

2 SCMを押してサウンドを選ぶ

- ・BEAT、SOFTまたはPOPのいずれかを選びます。

3 SELを押して「BAS」または「TRE」を選ぶ

4 ジョグダイヤルで音質を調節する

- ・LOUDネスを「オン/オフ」するとき、LOUDボタンを使います。

5 SCMを2秒以上押す

例：ビートサウンドの調節するとき



- ・ソース(音源)に合わせたサウンドがメモリーされます。別のサウンドやソース(音源)に変えても、再びそのソース(音源)に戻すとメモリーされていた音質に戻ります。

SCM LINK機能を取り消すには

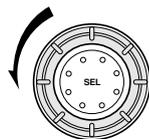
各ソース(音源)とも同じ音質にしたいときは、SCM LINKを「OFF」にします。

1 SELを2秒以上押す

- ・お買い上げのときは「CLOCK H」が表示されます。

2 ▶▶I(またはI◀◀)を「ポン・ポン」と押して「SCM LINK」を選ぶ

3 ジョグダイヤルで「LINK OFF」にする



- ・表示が消えます。ソース(音源)を変えても同じサウンドになります。

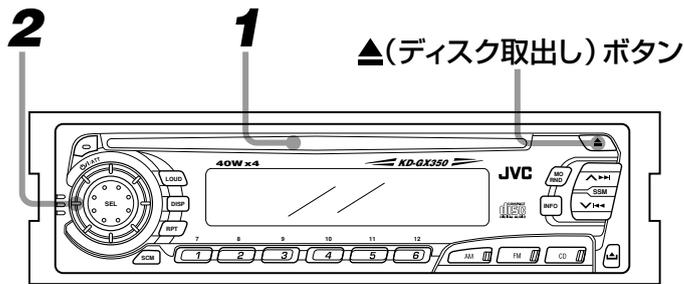
- ・右方向に回すと「LINK ON」に戻せます。

4 SELを押す

- ・元のソース(音源)表示に戻ります。

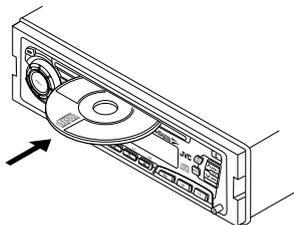
CDを聞く

— 番号順に操作します。 —



● 8センチCDの入れかた

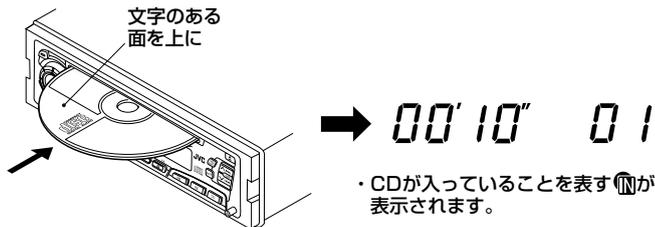
8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れます。



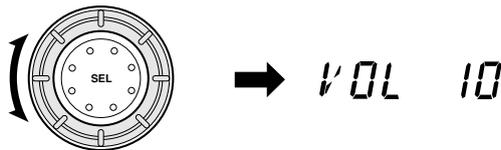
● CDを入れると…

ソース(音源)は、自動的に「CD」になり演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。

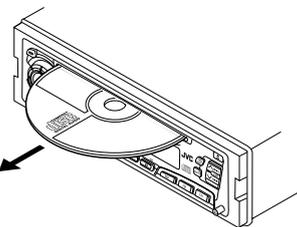
1 CDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)



2 ジョグダイヤルで音量を調節する



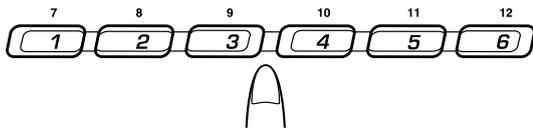
- CDを取り出すときは、▲(ディスク取出し)ボタンを押します。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。CDが出てきたのち電源が切れます。
(取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動的に中に引き込まれます)



- 文字のある面にDISECのマークが入っている、JIS規格に合ったCDをお使いください。

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



・ 1～6曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：2曲目のとき



・ 7～12曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：10曲目のとき



・ 13曲目以上は、演奏中に▶▶▶ボタンを「ポン」と押しスキップ演奏(→Ⓜページ)させ聞きたい曲を選びます。

《お知らせ》

● CDを他の人が取り出せないようにする(盗難防止)



・「EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。
もう一度同じ操作をすると「EJECT」が表示され、CDが出てきます。

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



もう一度押すと、解除されます。



ランダム演奏

演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



もう一度押すと、解除されます。



《お知らせ》

● 音量調節について

CDの演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げておき、演奏がスタートしてから適度な音量に合わせてください。

CDを聞く(つづき)

スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞くには…



・▶▶|ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まりません。

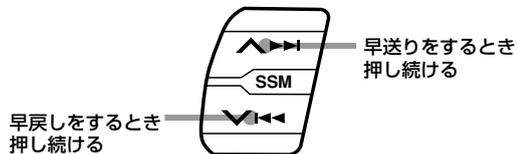
●演奏中の前の曲を聞くには…



・◀◀|ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

・演奏中のCDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

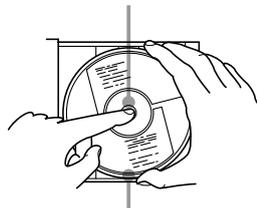
お願い

●CDを保管するときは

専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。

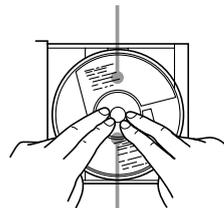
●ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ…



演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

文字のある面を上にして…



上から押さえて入れる。

- ラベル面に紙を張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

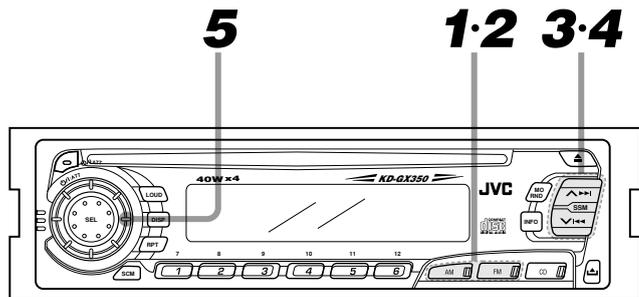


- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。シェイプCDを入れると、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。

ラジオを聞く

— 番号順に操作します。 —

マニュアル選局 ……電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときなどに使います。



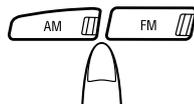
● マニュアル選局のモードは…

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(➡20ページ参照)のモードになります。

ご注意

- 交通安全のため、運転中は本機を操作しないでください。必ず停車時に操作してください。

1 FMまたはAMでソース(音源)を「ラジオ」にする ➡電源が入ります

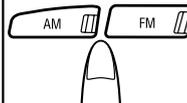


- 電源が入ると自動的に前の放送局を受信できます。
- 表示窓にバンドと周波数が表示されます。お買い上げ時は、¹FMまたは¹AMが表示されます。

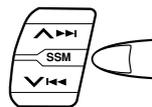
2 FMまたはAMでバンドを選ぶ

● 押すごとに
¹FM ↔ ²FM

または
¹AM ↔ ²AM
と変わります。
● AM放送はモノラル受信です。

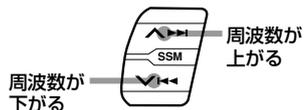


3 選局ボタン(∧または∨)を1秒以上押し てマニュアル選局のモードにする



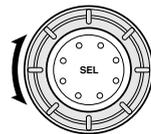
- 選局ボタン(∧または∨)を1秒以上押し表示窓に「¹FM」を点滅させます。

4 選局ボタン(∧または∨)で放送局に合わせる



- 1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

5 ジョグダイヤルで音量を調節する



ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。—

プリセット選局

本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタン $\boxed{1}$ にメモリーするには…

1 FMで「FM1」を選ぶ	→ $\boxed{1}$ FM
2 選局ボタン(▲または▼)で希望の放送局に合わせる	
3 プリセットボタンの「 $\boxed{1}$ 」を2秒以上押す	



プリセットボタンと同じ数字が点滅するとメモリーされます。

- ・バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

ご注意

- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給がとぎれるとメモリーした局はすべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

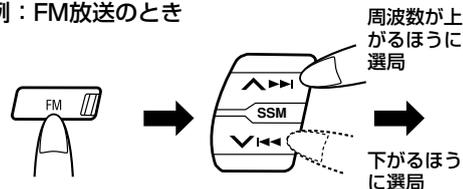
シーク選局(自動選局)

「M」が表示窓に表示されていないときは、選局ボタン(▲または▼)を「ボン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。

これをシーク選局(自動選局)といいます。

希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



- ・ $\boxed{1}$ FM または $\boxed{2}$ FM を選ぶ。

「ボン」と押して離す。

- ・ 放送局が見つかったら、選局が自動停止します。

MOボタンの使いかた



FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、このボタンで切替えます。表示窓に「MO」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。

FMステレオ表示



SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

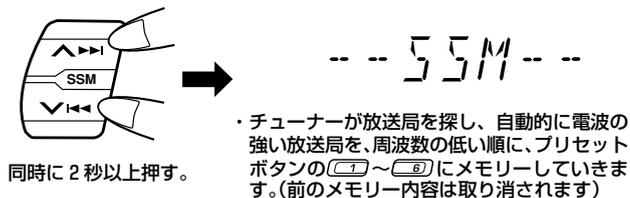
チューナーが自動的に電波の強いFM放送の放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。(AM放送はできません)
旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM1にメモリーするとき

1 FMを押してバンドを選ぶ



2 選局ボタンの△と▽を同時に2秒以上押す



3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

- ・プリセットボタン(1)～(6)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**オートアンテナ**コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“CD”にソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**オートアンテナ**)の最大コントロール電流は250mAです)

オートアンテナコードを接続しても、コントロール電流が過大で放送の受信がうまくできないときは、**リモート出力**に接続し直してください。

この場合、どのソース(音源)でもアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く(INFOモード)



高速道路などの特定地域では、1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。

聞きたいところで**INFO**ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1,620kHzが受信できます。電源「切」から操作することもできます。



5秒後に時刻表示に変わります。

- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。なお別の放送局を受信中に**INFO**ボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がメモリーされます。もう一度**INFO**ボタンを押すと、元のソース(音源)に戻ります。

レベルメーターの表示切換え

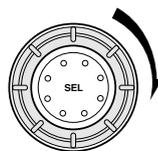
レベルメーターの表示を変えるには

1 SELを2秒以上押す

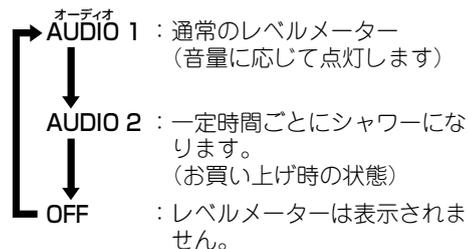
・お買い上げのときは「**CLOCK H**」が表示されます。

2 ▶▶| (または|◀◀)を「ポン・ポン」と押して「**LEVEL**」を選ぶ

3 ジョグダイヤルで表示を選ぶ



・左方向に回すと逆に表示を選びます。



4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

コントロールパネルの着脱

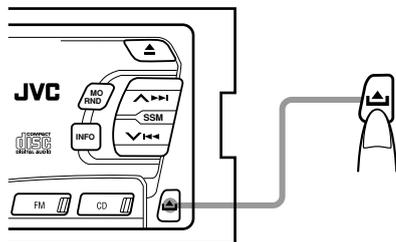
コントロールパネルを外すには

- ① 電源(電源)/ATTを1秒以上押して電源を切る

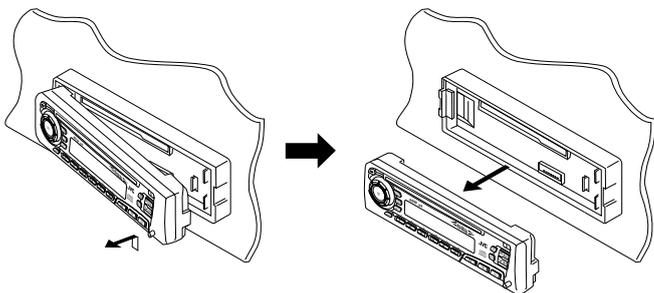


1秒以上押す

- ② コントロールパネル取り出し(▲)を押す

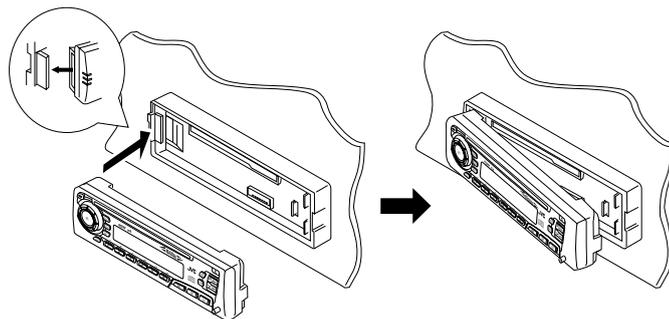


- ③ 前に押し出されたコントロールパネルを外す

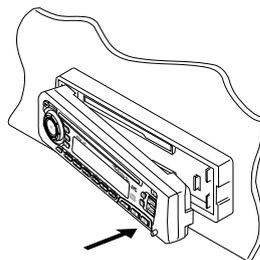


外したコントロールパネルを元に戻すには

- ① コントロールパネルの左側を本体に合わせて入れる



- ② コントロールパネルの右側を「カチッ」と音がするまで押す



正しくお使いいただくために

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型バスなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(フロント/リア40W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●外国での使用は…

本機は日本国内用です。外国での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

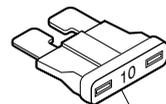
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖側が車の金属部に接続されていたり、⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

ハイファイ
*BTL : Balanced Transformerlessの略

パワースト 2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは10A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。また、10Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(10A)

こんなときは — 「故障かな?」と思ったら… —

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。 (EJECTが表示されてもCDの取り出し) ができない	・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・ SELボタンを押したまま ⏻ /I(電源)/ ATT ボタンを同時に2秒以上押す。CDが出てきますので落とさないよう、ご注意ください。 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
▲(ディスク取出し)ボタンを押してもEJECTが表示されず、CDの取り出しができない。	・ 盗難防止状態になっている。 → ④ ページ参照	・ CDボタンを押したまま▲(ディスク取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。「EJECT」が表示されCDが出てきます。
演奏が始まらない。	・ CDが裏返しに入っている。 (NO DISCが表示されます)	・ 文字のある面が上になるように正しく入れる。
CDの演奏音が途切れる。	・ CDが汚れている。	・ 柔らかい乾いた布で演奏面を清掃する。
AM放送がうまく受信できない。	・ オートアンテナのコントロール電流が250mAを超えている。	・ リモート出力 コードをオートアンテナに接続するように変更する。
	・ 車両のオートアンテナコントロール端子(またはアンテナアンプ電源端子)に オートアンテナコード が接続されていない。	・ オートアンテナ コードを接続する。

保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡しますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

この期間は通産省の指導によるものです。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、再度お調べください。
2. それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・ JVC CDレシーバー：KD-GX350

・ お名前とおところ

・ 電話番号

・ 故障の状態(詳しく)：例 CDの演奏音が出ない。

別売りアクセサリ

・ クリーニングキット：CK-25 (CD用)

・ RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)

CN-510E(長さ1m)

CN-520E(長さ2m)

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda=780\text{nm}$ 使用)
- エラー訂正方式：クロスインターリーブリードソロモンコード
- チャンネル数：2チャンネル
- 周波数特性：5 Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：93dB
- S N 比：95dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント/リア 40W+40W(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ~8 Ω で使用可能)
- 出力端子：RCA端子(1系統)、2V/1k Ω
スピーカーコード(1系統、ギボシ型)

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
オートアンテナコントロール電源コード付
- FMチューナー部
 - 受信周波数：76.0MHz~90.0MHz
 - 実用感度：14.3dBf(1.43 $\mu\text{V}/75\Omega$)
- AMチューナー部
 - 受信周波数：522kHz~1,629kHz
 - 実用感度：27dB μ (22.4 μV)

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V~16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 時刻表示：12時間表示法
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行167mm
- 質量：約1.3kg(付属品含まず)

付属品

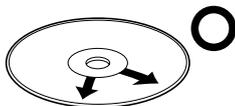
- ・接続コード(16ピンコネクター)…………… 1
- ・ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・皿ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・化粧プレート…………… 1

お手入れ

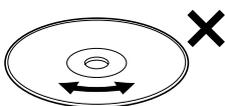
CD(コンパクトディスク)のお手入れ

本機に入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

本機の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

お問い合わせ先

モバイルエレクトロニクス事業部

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎ダイヤルイン(027)254-8926